

沖縄振興計画後期展望概要

【後期展望の性格】

沖縄振興計画が計画期間の後半を迎えるに当たり、
計画のフレーム及び計画に盛り込まれている諸施策、諸事業の状況について把握
計画の基本理念、目標の達成のための計画期間後半の施策展開の方向性等を提示

【内容】

経済社会情勢	分野別の課題
景気拡大 グローバル化 高齢化、人口減少社会 沖縄ブーム等	<p>自立型経済の構築に向けた産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none">・観光 : 通年・滞在型の質の高い観光の実現 キャリング・キャパシティ(環境収容能力)への配慮・情報通信 : 民間主導・価値創出型の情報通信産業の振興・農林水産 : 高付加価値化による「おきなわブランド」の確立・新規事業 : 沖縄の特性を生かした新規産業の創出、企業誘致 <p>雇用 : 雇用創出とミスマッチの解消</p> <p>科学技術 : 沖縄科学技術大学院大学(仮称)開学に向けた準備</p> <p>環境共生 : 自然環境保全、廃棄物発生抑制・再利用・再生利用の推進</p> <p>健康福祉 : 医療施設の整備、離島・へき地等における医療の確保</p> <p>人材、文化 : 高度な人材の育成、文化の保護・産業振興等への活用</p> <p>基盤整備 : 那覇空港の整備等、目的志向型の総合的・戦略的な取組による基盤整備</p> <p>離島、過疎 : 離島・過疎地域における生活基盤、医療体制整備と活性化・雇用創出</p> <p>跡地利用 : 長期的展望に立った駐留軍用地跡地利用の促進 等</p>

沖縄振興計画後期に向けた展望

(1) 基本的考え方

- ・民間主導による自立的・持続的発展をさらに推し進めていくための迅速かつ一層戦略的な取組
- ・人口増加県であることの強み、将来に向けた成長力の高さ
- ・沖縄ブーム持続の間に安定的・持続的優位性を構築、沖縄ブランド確立
- ・他県との競争、県内各地域間での競争の必要性、そのための意識改革
- ・安らぎと潤いのある生活空間の創造と健康福祉社会の実現、地域の特色を踏まえた均衡ある発展

(2) 具体的な方向性

- ・より一層の「選択と集中」
 - 沖縄の優位性を生かせる観光、健康関連、環境関連産業分野
 - 沖縄の不利性の影響の少ない情報通信、金融分野
 - 目的志向型の総合的・戦略的な社会資本整備
- ・保健医療体制の整備、高齢者や障害者のニーズに対応した取組
- ・「量」から「質」へ、単純な水準の向上(アウトプット)から自立型経済構築等への寄与(アウトカム)を踏まえた施策へ
- ・「イノベーション25」も踏まえた取組
- ・沖縄の将来を担う人材の育成、優秀な人材の確保、若者を対象としたキャリア教育、職業教育の強化
- ・自然環境や景観に配慮し、沖縄らしさを活かした県づくり
- ・民間企業やNPOなど、多様な担い手との協働